



文部科学省 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業(近畿ブロック)
2025 年度 第 4 回～6 回公開研修会

日本語教員の養成と研修をどう変えていくか？
実態と実践から学ぶ

ごあいさつ

近畿圏で日本語教員養成に関わる大学や、日本語学校、行政機関等、29 機関が加盟する「[文部科学省日本語教師養成・研修推進拠点整備事業近畿ブロック](#)」(拠点校:神戸大学)では、2024 年度より、「登録日本語教員」時代を見据えた公開研修会を継続的に実施しています。

2025 年度の第 4 回～第 6 回公開研修会は、国際交流基金によるトーク、本拠点事業の調査部会による報告、また、革新的な日本語教員養成プログラムの開発を行っている北出慶子先生らによるご講演と、バラエティのある 3 本立てとなっています。3 つのイベントは連続して開催いたしますが、興味ある部分だけを聴講いただくことも可能です。複数の観点から、これからの近畿の教員養成・教員研修を考える一日になればと思っております。

夏休みも終わり、新学期が始まったばかりのご多用中の時期とは存じますが、日本語教師・教師教育者の皆さま、日本語教師を目指しておられる皆さま、小中高の先生がた、行政の皆さま、地域の皆さまはじめ、この問題に関心をお持ちの多くの方々のご参加をお待ちしております。

記

日時 2025 年 9 月 6 日(土) 12:20～15:30

会場 大阪 ヒルトンプラザウェストオフィスタワー 8 階会議室

〒530-0001 大阪市北区梅田 2 丁目 2 番 2 号(TEL:06-6341-3334)

参加費 無料(要事前申し込み、先着順) <https://forms.gle/PrE3PATsDhWtBaoi6>

問合せ先 拠点事業責任者 石川慎一郎(神戸大) iskwshin@gmail.com



プログラム

12:20-12:50 第4回公開研修会

講師: 高橋 裕一氏 (国際交流基金)

演題: 「ミニトーク: 国際交流基金・日本語パートナーズ派遣事業～長期派遣と大学連携インターンについて～」

注: 研修会の前後に、名刺交換の機会があります。大学の養成課程担当者で、大学連携インターンプログラムについて基金と個別に意見交換したい場合は、当日、御名刺をお持ちください。

13:00-14:00 第5回公開研修会

講師: 文部科学省 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業 (近畿ブロック) 調査部会メンバー

演題: 「近畿における日本語教員養成・研修実態調査の中間報告: 何が問題になっているか、どう変えていくか」

14:10-15:20 第6回公開研修会

講師: 北出慶子先生 (立命館大学教授)・嶋津百代先生 (関西大学教授)・杉本香先生 (大阪大谷大学准教授)・

演題: 「日本語教育現場と養成課程の乖離を解消するには?—日本語教師と日本語教育分野の自律的な成長・発展を目指して—」

講師紹介と講演の概要

第4回公開研修会



講師：高橋 裕一（たかはし ゆういち）氏

国際交流基金日本語パートナーズ事業部長。

1991 年国際交流基金に入社。主に日本語教育支援に従事し、日本語パートナーズ派遣事業には、2014 年の事業企画・立案時より関わる。これまで計3回のインドネシア勤務、ジャカルタ日本文化センター所長を経て、2025 年 2 月より現職。

概要

国際交流基金（JF）が展開する日本語パートナーズ派遣事業について、日本語教師養成と関わりのある2つの制度を紹介するとともに、質疑応答を行う。（1）長期派遣：アジアの中学校・高校等に、現地の日本語教師のアシスタントとして、6か月～10 か月程度派遣するプログラム。（2）大学連携インターン：JF と日本語教師養成課程を有する日本国内の大学が合意書を締結し、大学の協定校をはじめとするアジアの教育機関で日本語教育実習等を実施するための費用の一部を JF が負担するプログラム。日本語教育を専攻する学生を日本語パートナーズとして実習先に派遣する。

第5回公開研修会

発表者：日本語教師養成・研修拠点整備事業（近畿ブロック）調査部会メンバー



新井 潤氏（関西学院大学）

川上 尚恵氏（神戸大学）（世話役）

北出 慶子氏（立命館大学）

芹澤 円氏（神戸大学）

辻本 桜子氏（大阪教育大学）

丸山 友子氏（コミュニケーション学院）

村尾 元氏（神戸大学）

概要

日本語教師養成・研修推進拠点整備事業（近畿ブロック）調査部会では、事業が開始された2024 年度より調査内容の検討を開始し、2025 年 7 月 23 日～8 月 8 日に第 1 回調査を実施しました。調査では、近畿地区の日本語教師養成機関を対象に、養成に関する各機関の実態や問題点を把握することを目的としました。質問項目として、受講者のニーズや進路、養成・研修のカリキュラム作りやその運用に関するものなどを設けました。研修会では中間データ分析結果についてご報告し、近畿の日本語教員養成の強みと課題についてご一緒に考えていければと思っています。

第6回公開研修会



北出 慶子(きたで けいこ)氏

立命館大学文学部・言語教育情報研究科教授。

専門分野は、言語教師教育、第二言語学習、言語文化教育、多文化間コミュニケーション、質的研究など。主な著書は、『ナラティブでひらく言語教育—理論と実践』(2021、新曜社、共編著)など。多文化共生社会の協創に向けて言語教育・言語教師教育ができることについて関心を持ち、研究、教育実践に取り組んでいる。



嶋津 百代(しまづ ももよ)氏

関西大学外国語学部・外国語教育学研究科教授。

専門分野は、日本語教育学、教師教育学、ディスコース・ナラティブ研究、オートエスノグラフィー研究。主な著書は、『ナラティブでひらく言語教育—理論と実践』(2021、新曜社、共編著)、『一歩進んだ日本語教育学概論—実践と研究のダイアログ』(2023、大阪大学出版社、共編著)など。ことばに対する敏感さや感度を高める教育実践を目指している。



杉本 香(すぎもと かおる)氏

大阪大谷大学文学部准教授。

専門分野は、日本語教育学、日本語教師教育。外国人保護者の支援や、子育て期の日本語教師についても関心を寄せている。また、学生たちとともに多文化共生社会を実現するには何が必要かを考え、地域で活動している。

概要

日本語教師の定着不安や若手不足といった現状において、新任教師が日本語教育現場で直面する「リアリティ・ショック」や「養成課程との乖離」は課題の一つとなっています。本発表では、このような乖離の軽減を目指し、大学における日本語教員養成と日本語教育現場との連携の在り方、日本語教師教育に関わるステイクホルダーへの調査結果、越境的コミュニティの実践について共有し、皆さんと意見交換をする機会にしたいと考えています。